第 22 回（令和 6 年度第 7 回）タウンミーティングの概要

１　団体名　新堀小学校区連絡会
　　代表者　会長　金森忠志

２　日程等
（１）開催日　令和 6 年 11 月 16 日（土）
（２）会　場　新堀公民館
（３）テーマ　新堀地区の子育て環境・学校教育環境の改善について

３　意見交換の概要
※ [　　] 内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

市民　近年、子どもたちの学力の二極化が問題とされ、新堀地区でも授業についていける子とついていけない子の二極化が起きています。
　そこで、学力向上補助員を増員して、授業についていけない子どもたちの学習面のサポートをしてほしいと思います。親や先生以外の経験豊かないろいろな職業の大人と接することで、例えば、将来の職業の選択肢が増えるきっかけにもなると思います。

市長　学力向上補助員については予算の確保とともに、人員の補強についてしっかりと対応していきたいと思っています。
　お子さんたちの手元には紙と鉛筆、本、教科書だけではなくて、タブレットもあります。教育現場のＯＢだけではなくて、民間で働いていた方、特にＩＴの技術を持っている方にも参加していただけると、ＩＴを理解しやすくなる環境が作れるのかな、そんなことも考えています。

市民　今いろいろな事情で学校へ行けないお子さんたちがたくさんいます。この子たちへのサポートをもっと手厚くしていただくために、オンライン授業を整備していただき、いろんな環境の子たちでも授業ができるようにしていけたらいいのではないかと思います。

市長　お話のように、不登校のお子さんに対して、オンラインの授業はとっても良い、効果的な方法だと思っています。

学校教育課副参事　今、全員にタブレットを配布していますので、ご家庭にＷｉ－Ｆｉ環境が整っていれば、教室の授業を予備機のカメラで撮りながら、自宅でタブレットを見て同時に授業を受けることは可能です。
　実際そういうことをやっている学校もあります。

【学校教育課】　不登校対策として、全小中学校の校内に、余裕教室等を活用し、授業時間帯において不登校傾向の児童生徒をサポートする教育支援センター（新くまなびスクール）の設置を検討しています。Ｗｉ－Ｆｉ環境が整備されていない教室もありますので、今後、環境整備を行い、タブレットで授業を受けることも視野に入れています。

市民　オンライン授業については市によって活用頻度が違ったり、市内の学校間でも新型コロナウイルス感染症が流行した直後から、オンラインをうまく活用しているところもあれば少し遅れをとってしまったのかなと感じるところもありました。学校内でも、クラスによって違うという話を聞くこともあります。学級閉鎖のときに、双方向での懇談会はありましたが、子どもは双方向の授業を経験してないように思います。もう少しタブレットを使った学習を取り入れていただければと思います。

学校教育課副参事　おっしゃるように、学校によって使う頻度が違うことがありますが、タブレットを使うことで必ず学力が上がるというものではありません。学校には効果的に使うよう指導しています。

市長　先ほどのお話とあわせて、タブレットは万能ではないので、どういう形でこれからお子さんたちの教育にとって良い道具になるかということを検証しながら進めたいと思います。

市民　子どもたちが授業や部活で体育館を使用しますが、学校の体育館や市民体育館などに冷房設備がありません。子どもたちが体育やスポーツをするにあたり熱中症のリスクが生じます。また災害時の避難場所として、夏は使用が難しい状況です。ぜひ改善や冷房の設備をお願いします。

市長　この夏はとっても暑くて、「市長への手紙」でも早く冷房を整備してほしいという話がたくさんありました。市では、学校の設備の充実ということで、1校約1億円をかけて市内の小中学校のトイレの改修を順次進めています。

　ちなみに、体育館に空調を整備するには1か所約5000万円かかります。使えば電気代がかかります。トイレの改修が一巡した後、いくつかある小・中学校の改修の項目として体育館の空調を検討したいと思います。

　市民体育館には、災害時の避難場所として空調設備を備えた建て替えが計画されています。まずは学校というよりは、地域の皆さんに災害時の避難所として使っていただける施設の空調設備は、早く入れられるように考えていきたいと思います。

市民　市から配布された日傘ですが、雨の日や登下校の熱中症対策で大変助かっています。子どもも大変気に入っているのですが、壊れてしまった場合や、

紛失してしまった場合は、どこかで購入は可能でしょうか。

市長　壊れたり、なくしたので欲しいという場合は、学校を通してお求めいただくことは可能ですので学校にご連絡いただけたらと思います。

市民　夏場、市からいただいた日傘を登下校で使用して暑さ対策をしていますが、通学帽が汗びっしょりになってしまいます。特に男子の帽子は頻繁に洗える素材ではないので、洗濯機で洗えて首の後ろも保護できるような帽子にしていただきたいです。

夏場だけ自宅の帽子の使用を許可していただいても良いのですが、通学帽は登下校だけではなく、校外学習でもかぶっているので、黄色の通学帽の方が目立つので良いと思うので改善を希望いたします。

市民　隣の太田市は、新堀小学校と同じ通学帽子でしたが、市で誘致したプロバスケットチーム、群馬クレインサンダーズのロゴが入った、市から提供された帽子で登下校可能になったそうです。

それが野球のキャップのようで通気性もよく、黒と黄色のデザインは男女一緒です。ということで、熊谷市にもワイルドナイツがありますので、同じように市内の小学生に帽子を支給してもらえたらと思います。

市長　市が帽子を選んでいるわけではなく、学校ごとに帽子には特色があります。例えば、熊谷東小学校は、男女同じ紺色のつばが小さい帽子をかぶっています。伝統的な帽子ということで変えずに使っています。ＰＴＡと学校とで協議をして決めていただければ、帽子を変えることは可能です。

ワイルドナイツについては、市内の小学校の皆さんから話があれば、協議をして、何か、いい形が作れればいいなと思いますが、熊谷は、女子ラグビーのアルカス、女子サッカーのちふれ AS エルフェン、野球では独立リーグの武蔵ヒートベアーズの本拠地にもなっています。それぞれのチームがお子さんたちと何かコラボできればということも検討させていただきたいと思います。

市民　新堀小学校区にぜひ児童館を作っていただきたいです。児童館は子どもたちの居場所作り、他学年との交流、地域の繋がりなど、学校でも家でも学べない環境が揃っていると思います。また雨の日や真夏など、室内で遊べたり、週末や長期休みなども子どもたちが集まって遊べたりします。特に夏休みは行き場所がなく、おうちで過ごすことが多く、運動不足やゲーム漬けになってしまいます。未来の子どもたちのためにもぜひ検討していただきたいです。

また、ホームページを確認したところ、児童館に関する情報が少なかったのでイベントや施設の情報を発信していただけると幸いです。

市長　児童館については、地域の皆さんから多くある要望のうちの一つですが、児童館と同じようにもう一つ要望があるのが児童クラブです。ちなみに熊谷市の保育園の待機児童はゼロですが、児童クラブの待機児童はたくさんいます。児童館の前に、児童クラブの充実を図りたいと考えています。

【保育課】　児童クラブの待機児童数は、令和6年5月1日時点で144人です。

市民　西部地区にも図書館を作って欲しいです。今後計画がありますか。
市長　場所は未定ですが、皆さんが打合せできる部屋や、200人くらい入るような広めの部屋に併せて地域の皆さんが必要とする図書館や小さな屋内運動場を併設した「西部生涯活動センター」の建設を考えています。
　事業計画を作る前に意見を聞かせていただく場を設けますので、ご意見をいただけたらありがたいと思います。

市民　新堀小の通学路になりますが、天神踏切がだいぶ老朽化し、ベビーカーや自転車の車輪が挟まるなど危ない場面をよく見かけるという話があります。
市長　一度JRに要望しましたが、簡易な補修だったようです。このタウンミーティングを機会に改めて要望を出させていただきます。
　これからスマートタウンの開発が始まると新しい道路が線路沿いにできます。安全確保を含めて通学路を検討するタイミングがあるかなとも思います。

市民　小中学校の給食費無償化については、実施している自治体もあると聞いています。物価高騰の折、家計費も厳しく、熊谷市でも無償化を考えていただきたいと思いますが、市長の考えをお聞かせ願います。
市長　小中学校の給食にかかる費用は年間で約15億円です。給食費を無償化すると保護者負担分の年間約8億円を市が負担することになります。
　単年度であれば我慢すればできるかもしれない。でも10年で80億円になります。できれば、保護者の皆さんの負担も大変だと思いますが、その80億円を給食費以外のお子さんたちのために、例えば教育の質の向上に使えたらということで給食費無償化は今のところ考えていません。

市民　地域ふれあい事業として音楽会を開催しており、今年度で第5回目となります。来年1月18日に実施予定ですが、今年度も市長さんに参加をお願いします。
市長　もちろん参加させていただきたいと思っています。クラシックに親しむということに対して、お子さんたちにとってもわかりやすい説明をしていただいたり、それぞれの楽器の特徴も説明をしていただくなど、まさに音楽の入

門にはもってこいのコンサートだと思っています。校区外の子どもたちにも声をかけていただいて、ぜひ頑張っていただきたいと思います。

市民　新堀第4公園付近に住んでいます。「新堀」から「籠原」への町名変更はいつ頃になりますか。その際に、生活道路は30キロ規制になりますか。

　また、道路がかなりひび割れてきたので直してほしいのですが、どこに対応をお願いすればいいのでしょうか。

市長　まず道路のひび割れについては、土地区画整理事業区域内であれば、土地区画整理事務所に御連絡ください。傷み具合を見て対応させていただくことになろうかと思います。

　それと町名変更の時期については調べてお答えします。

　町名変更が済んだ籠原南については、「ゾーン30プラス」という交通規制の方式がありまして、エリア内が30キロ規制になっています。スピードが出ないように路面のこぶや、オレンジのポールが設置されています。

　籠原南では既にそういう取り組みがされていますので、自治会長さん名で、建設部と熊谷警察署に「ゾーン30プラス」の要望を地域の声として伝えていただけるとありがたいです。

【土地区画整理事務所】　町名変更の時期については、令和8年度以降を予定しています。

市民　新しい給食センターができるという話を聞きました。衛生面については、建物の中だけでなく周辺の環境整備も定期的に行っていただきたいと思います。また、厨房に、夜間、天井からオゾンを発生する装置をつけるなど安心して食事ができるようにお願いします。

市長　今回、オールセンター方式での建て替えを考えていますが、施設が老朽化したことと、ＨＡＣＣＰに準拠した衛生管理基準への対応が目的です。

　お子さんの安心安全を考えたときには、自校式では学校の安全管理にばらつきが出ますから、一極集中した方が安心できるだろうというのがあります。

市民　スマートエコタウンの予定地ですが、現在、草が背丈ぐらいまで茂っています。一部通学路にもなっていますので、定期的に除草をお願いします。

市長　通学路の道路脇については市の管理になるかと思いますので、後日検討します。今お話の草が茂っているのは畑の中だと思います。この畑については、市が買い上げるわけではありませんから、できれば、畑の持ち主にきちんと管理するように話していただけるとありがたいと思います。